新京日日新聞

新京日日新聞社 [illegible]

嶄新布地豊富入荷
室町小學校前 井上洋服店 電話三七六四番

湧くが如き歡迎裡に 我等が菱刈大將新京着
三位一体の具現者、第二の滿洲礎石
直ちに主待つ官邸へ

故武藤元帥逝いて第二の滿洲國建國の礎石たるべき帝國三位一体の具現者菱刈隆大將は日滿官民の齊しく待ちわびる國都新京へ二十二日午後八時二十分晴れの入京をした、これよりさき新京全市は『我等の菱刈大將來る』の報に日滿官民ともに遺憾なき歡迎の準備、親しくその風丰に接せんものと沿道に堵列する官民全市を擧げて湧き立つやう、警備當局また忌はしき事象の一つとして起らぬを期して警戒に怠りない、やがて定刻午後八時二十分我等が司令官を載せた特別列車は先驅裝甲車の待避線へ避けた後をすべるが如くホームに入つた日滿軍の奏でる將官に對するりゆうりようたるラツパの吹奏せられるや驛前群集から期せずして起る萬歲のドヨメキの中をホームに降り立つた將軍は、西軍司令官代理初め日本側官民代表者、鄭國務總理以下滿洲國官民代表者の禮をうけつゝ一たん驛貴賓室に入り挨拶を受けたる後、沿道官民の萬歲の聲に迎へられつゝ日本橋通りを眞つ直ぐに朝日通りへ右に折れ、故武藤元帥沒後主待ち顔なる大使官々邸に入つた、時に八時四十五分

田代司令官 執政訪問

新任關東憲兵隊司令官田代少將は二十二日午前十時執政府に執政を訪問新任の挨拶を述べる所あつた

晴れの國都入り
新京驛頭未曾有の盛觀を呈す

故武藤元帥を失つた在滿百萬の同胞及び滿洲國三千萬民衆が第二の父として『待望』しつゝあつた關東軍司令官、駐滿全權大使、關東長官、三位一體の具現者菱刈大將は日本側より西軍司令官代理、關東軍幕僚、畑、廣瀨、宇佐美、平田各兵團長、多田少將、田代憲兵隊司令官、小林駐滿海軍司令官、谷大使館參事官、吉澤新京總領事、小河拓務書記官、荒木地方事務所長、滿洲國側より執政代理張海鵬、鄭國務總理、謝外交總長、熙財政總長、丁交通總長、張實業總長、馮司法總長、張海鵬上將、宇佐美顧問、榮厚、田邊、羅諸參議『始め』日滿要人並に陸海軍將校、在京高等官、滿鐵幹部、在鄉軍人各地方代表、婦人會代表等文字通り日滿の諸星、名士を網羅する盛觀を呈し、やがてピタリと橫付けされた列車の最高部展望車から莞爾と笑をふくんだ大將の勇姿が現れるや待ちかまへた各社寫眞班はフラツシユの閃光と爆音の洗禮を浴びせかけ、例によつて新聞社の活動が終ると大將は一同の敬禮に擧手の禮をもつて答へつゝ高澤新京驛長の先導で地下道を第一ホームに出で貴賓室に入り、少憩の後日滿官民からの『歡迎』の言葉を受けた

小磯參謀長 出迎へに公主嶺に向ふ

小磯參謀長は新任菱刈司令官を公主嶺まで出迎へのため午後四時半新京發列車で南下した

將晴れの國都入りの昨日、黃昏の光全く斂まり澄み切つた北滿の夜空に星二ツ三ツ瞬く二十二日午後八時二十分特別仕立の臨時列車は裝甲單機案引車を前驅として靜かに新京驛第二ホームに滑り込んだ、この日驛頭を埋むる出迎の人々は

滿洲國を賴みますぞ
鄭總理の瞳に淚光る
驛貴賓室に於ける劇的挨拶

新京驛貴賓室で少憩せる菱刈大將は執政代表張海鵬氏の傳へる溥執政よりの懇ろな『歡迎』の辭を始め日滿官民代表の挨拶を受けた、中にも滿洲國の柱石鄭總理との初對面は來る者、迎ふる者、只感激をもつて終始し無言の中に差出す大將の手を總理はカ一杯握りしめ兩者の瞳がカツチリ搦み合つた時、老總理の双眼は早や露に濡れ「滿洲國をよろしく賴みますぞ」言はず語らず英雄の心事は英雄のみぞ知る、大將はかすかにうなづき和かな微笑を双頰に浮べて手を離したが、この一瞬の劇的

偶語
菱刈全權を迎ふ

菱刈全權を迎へた今日の新京の晴々しさ數日引きつゞいた憂鬱な空もからりと晴れて日滿兩國民が初秋の風に酬へるさきに武藤元帥を亡つた日滿兩國民は恰も頃日來の空模樣の如く憂鬱なものだつたがこゝに新全權を迎へて始めて愁眉秋の如き氣が漲るに至つた

△

全權の滿洲上陸第一に發した聲明の中絕對經綸の大綱に至つては悉く前任武藤元帥の行へるところを踏襲すべしとあつて此一觔千鈞の重味あり內心深憂惧の念を懷いた向もこれで大に安堵したらう

△

遠英全權が東京を發せられて以來の言動は悉く漫談的に傳へられて來たがその間にひらめく威勢は決して自ら稱するボンクラでない辛辣なところがある

△

三位一体の絕對經綸の大綱の一定不變なことは勿論であらうが、豫ねて聞く青年將校をして恐るべきオヤヂだと長怖せしめたと云ふその銳さが消磨してゐないならば必ずや玉石の鑑別などは觸ずして行はれん

△

故武藤元帥が日滿兩國民に嚴父の如く畏られ慈母の如く慕はれた以上に倚り賴られ、やがてそれが日滿共存共榮の美果を結ぶであらうことを確信する（杜二郎）

沿道市民の 歡呼に答へつゝ
菱刈大將官邸に落つく
灯輝く官邸の第一夜

驛貴賓室に於ける日滿官民代表の閱謁終つて大將は左玄關前に橫付けされたキヤデラツクに今岡副官同乘前驅憲兵自動車を先頭に午後九時驛を『幕僚』を從へ威風堂々歡迎の嵐の中を官邸に向け行進を開始した、場面は並居る日滿要路の大官をして襟を正さしむる嚴肅なものがあつた、斯くて挨拶を終へた大將は九時再び立錐の餘地なき沿道を、菱刈大將は車上にこやかにこの熱誠溢る歡迎に答へつゝ恙なく九時十分官邸に到着した、武藤元帥薨去以來久しく寂しかつた官邸は灯の光輝かしく新

傷兵を痛む 情の將軍

【奉天二十二日發國通】新軍司令官搭乘の特別列車は護衛の偵察機二機に守られ瓦房店驛に着くと遼河地區警備司令官王殿忠將軍が出迎へ大石橋まで同乘して營口附近の匪賊狀況を報告する、又湯崗子驛では熱河の討匪戰で名譽の重傷を負ふた騎兵○聯隊長三宅大佐以下五勇士が白衣の姿で出迎へると軍司令官は「傷はどうだ」「經過はよいか」と懇ろにいたはつた、通過各驛は日滿官民、學生等の盛なる歡送迎があつて午後三時四十分奉天驛に入つた

菱刈司令官 廿三日行動豫定

二十二日午後八時二十分着任し官邸に一夜を明した菱刈新軍司令官は二十三日午前中關東軍幕僚及び各部隊大隊長以上の伺候を官邸に於て受け終つて小磯參謀長、西、坂本、廣瀨、畑、井上、宇佐美、平田各兵團長の軍情報告を聽取し終つて午後軍司令部に初登廳をなし在京各部隊を中廣場（雨天の際は西廣場小學校講堂）に集め一場の訓辭をなし後司令部內弘報室に於て在京記者團と共同會見をなす筈である

『出發』小磯參謀長、岡村副長、田代警備司令官、幕僚等十數臺の自動車に分乘して續き、○○○隊第○中隊長の指揮する一ヶ中隊の警備隊が武裝嚴しく其後に續いて數十臺の自動車蜒々、誇らかに「歡迎」の飾輝かしき驛前廣場、憲兵部隊、步兵部隊、航空部隊堵列の前を勇壯な奏樂とどよめく萬歲の聲を浴びて自動車の行列は轟々と日本橋通りへ折れて官邸へ新司令官入京最初の『步道』たる日本橋通りは通信部隊、鐵道部隊、衛生部隊、給養部隊、在鄉軍人、官民各團體、日滿學生の順、更に朝日通りへ續いて滿洲國側軍隊同警察隊の整然たる堵列、歡迎の喜びに溢れた各戶市民の

司令官入來の第一夜を迎へて『異常』な賑かさの中にまごらかに更けた、嚴重な警戒裡に……

我等が大將を迎へて
わき返る國都
四萬の新京市民歡呼に熱狂

昨夜我等が軍司令官菱刈大將を迎へて國都新京の『夜は』市民の歡呼に沸き返る程であつた、先づ歡迎の華々しいイルミネーションがはり廻らされた數々の萬國旗にかこまれて賑々しくきらめく驛前廣場から官邸に續く新京夜の日本橋通りは戶每明々と輝く電氣の下に喜びに輝く群衆の顏、顏、顏驛前から旣に堵列を了へた憲兵部隊に續いて步兵部隊、航空部隊、日本橋通りは通信、鐵道、衛生、給養各關係部隊の堵列に埋められ、在鄉軍人各會團體、學生に續いて朝日通りもはや滿洲國側軍隊、警察員の整列で一杯だ、その背後には手に手に日滿兩國旗を翳した市民が八月の『夜空』の下で歡迎に昂奮し切つてゐた、旣に到着時刻八時二十分を過ぎること四十分餘り、日滿各要人、團體代表者との面接を了へて驛構內に元氣な我等の軍司令官の姿が現はれると、昂奮、熱狂の絕頂に達した出迎への團體、市民の間から起つた歡聲が驛前廣場の空を壓して空にも屆けと響き渡る歡聲は次第に日本橋通りの群衆へ傳はり、やがて警備兵の自動車に續いて副官と同乘する軍司令官のキヤデラツクが音もなく日本橋通りへ、市民の熱狂する眞只中に進むと車內から健やかに擧手の禮を續けてゐる我等が軍司令官を迎へて群衆の歡呼は一入さあがる、續いて小磯參謀長、幕僚の順に無慮數十臺の自動車が沿道に起る歡呼を浴びて靜々と官邸に入ると雪崩を打つて後に萬歲の聲を投げかける四萬の『民衆』も斯くて歡迎の一夜を無事に終へて歸路についた

菱刈新駐滿大使の
親任狀捧呈式
二十四日執政府で

榮ある菱刈二代目駐滿全權大使の新任狀捧呈式は二十四日○○○○時と內定した、此日全權は小磯參謀長以下關東軍幕僚並に谷參事官以下大使館員等隨員を從へ公式行列を整へて執政府を訪問、侯見室で鄭總理、謝外交部總長侍立の下に執政に對し親任狀を捧呈する筈である

朗らかな將軍
まるで爆笑の行進曲
相手の質問を巧に受流して
本社記者と禪問答

三位一体の重任を負ふて菱刈將軍が晴れの國都入りを記者ははるばる車中に迎へる、明朗で磊落な將軍もけふ（二十二日）は流石に大將の軍服もいかめしく特別列車最後部の一室に端然と腰を下してゐる、大連を立つて以來各驛每にホームを埋むる歡迎の人々に一々丁寧に擧手の禮を以て答へ全く席の暖まる間もない忙しさだ、その間井上守備隊司令官が日露戰役以來滿洲事變に至る戰蹟についての說明を受け、時折り移りゆく窓外の景色を眺めて感慨無量の態である

□

湯崗子驛あたりで白衣の傷病兵士達がわざわざ驛構內に出迎へると將軍は如何にも感激にあふれた面持で親しく懇ろに慰問の言葉をかけたものだ當の白衣の兵士達はもちろんこの美しき光景を目前に見た人々はいづれも慈父の如き將軍の情愛に思はず感激の目を見張つたといふ

□

かうして長途の旅にも聊かも疲勞の色なく車中記者團を引見して語るところ例によつて諧謔、その質問を巧みに受け流して要領を得させぬところは堂に入つたものである

問　閣下は太閤將軍の名があるさうですが……

答　さうだらう俺は東の方からやつて來たんだからな

問　今度は三位一体、いはば三刀流といふわけですが

答　さうか宮本武藏にでも聞かねば解らぬが君達の方はよく知つてゐやう、だがもう聞くのも遲い、すぐ新京だからなハハハ……ハア

これではまるで禪問題だ、立會の藤原秘書官、林出書記官も大きく口を開けて笑ふ、誠に朗かな將軍である

問　匪賊退治の祕法は？

答　匪賊は少々居る方が面白い、蚊や蠅と同じでな、蚊が居るから人間も苦勞するのだや、苦勞するところに人生の味がある、さうぢや

問　閣下の髯はその殘りのやうで整然として居ないですが

答　少々植林してゐる、君達もさうぢやハハハ

問　閣下は酒がお好きですか

答　酒！それからなんだワハハ

思はず記者が行詰つて了ふと大將は手を額にぽんと當て、爆笑する、かくて將軍の話はそれからそれへ噴泉のやうに……やがて四平街を過ぐると列車內では招宴が行はれ賑かな爆笑行進曲がつゞくのである

南支島嶼先占問題
先占宣言なきを根據に
我領有權拒否か

【パリー二十一日發國通】フランス政府の新南群島先占宣言に對し帝國政府は澤田代理大使を通じ十九日右不承認の旨を通告したがフランス政府官邊では事態の紛糾を憤れ該通告に關し一切批評を差控へて居る、但しフランス政府としては同群島に對する日本の經濟的權益は充分之を尊重するが帝國政府が未だ曾つて同群島に先占を宣言した事が無いのを根據に同群島に關する帝國政府の政治的領有權主張は之を拒否するものと觀られてゐる

唯閣下の健康を祈る
荒木事務所長談

荒木新京地方事務所長は喜びを胸につゝんで左の如く語る

故武藤元帥の後任として全日本國民の熱誠なる信賴と意氣に送られ三位一体の重責を負ふて昨日目出度入京された大將の溫容に接し、全市民と共に誠に喜びに堪へません、日滿關係增々緊密な折柄、唯々我々は閣下の朗な健康を日滿兩國のため深く祈念するばかりです

逆產競賣の 入札者十八名
總計三千四百八十四圓

國務院に於ては既報の通り八月二十日新京所在逆產物品の競賣を實施したる處前日來の降雨にて道路惡かつた爲か朝の間は客の出足極めて少く午後の入札をあやぶまれたが十時過ぎより徐々に下見客の數を加へ總計二百名內外を算し正午締切り午後一時の入札には十八名の加入者あり開札の結果左記價格にて夫れぞれ落札した

第一號	二二〇圓	青井正一
第二號	二二二圓	大和洋行
第三號	三〇二圓	青井正一
第四號	一〇〇圓	李魁元
第五號	四五二圓	李魁元
第六號	一九九圓	青井正一
第七號	六三五圓	青井正一
第八號	三五〇圓	石黑仙太郎
第九號	二九九圓	青井正一
第十號	三八五圓	青井正一
第十一號	三一九圓	李魁元
計	三、四八四圓	

因に第八號は再入札を爲したるも落札するに至らず結局入札終了後商談に依り豫定價格にて隨意契約したものである

菱刈大將の 御援助で
滿洲國は益々進展せん
張侍從武官長談

大將の晴れの都入りを執政代理の大任を負ふて驛頭に出迎へた侍從武官長張海鵬上將は出迎への後左の如き感想を語つた

本日全權の御着任を迎へて我々は喜びに堪えない次第である、大將は固い決意を以て着任された、今後我が滿洲國は司令官の御援助によつて大いに伸びて行く事と思ふ、日滿兩國の親善は閣下の御着任によつて益々基礎を強くするものである事を確信してやまない

オーストリア獨立擁護
英佛伊三國間で頻々意見交換

【ローマ二十一日發國通】イタリー外務省はムツソリーニ首相及びオーストリア首相ドルフス氏の會見內容に就き言明を避けて居るが兩氏會見の結果ムツソリーニ首相はドイツに對しオーストリア宣傳を中止する樣友好的警告を發した、一方オーストリアの經濟救濟に關してもムツソリーニ首相は目下協力方針を考慮中で、英佛伊三國間で右に關し頻りに意見の交換が行はれてゐる、但しオーストリアの獨立を擁護する爲英佛伊三國間に軍事行動を執る協定が出來たとの報道は全く事實無根で歐洲大戰の創痍未だ癒えず、三國が再び軍事行動を起すさせば歐洲は益々以て破局に陷るものと觀られて居る

陸軍省新聞班 松井少佐來京

新任の菱刈大將と同船でいすり丸で來滿、二十一日夜來京した陸軍省新聞班松井少佐は二十二日午前十時半軍司令部發表室を訪問し在新京記者團と會見種々面白い內地の現狀を紹介した後左の如く語つた

來る時は軍司令官と船が同じで船中軍司令官が盛んに記者諸君に惱まされて居る所を拜見しました、こちらにやつて來た目的はまあ視察といつた程度のものですが關東軍第四課とも種々打合せがあつた爲めです

尙は先般の陸軍省記者團來京の際の歡迎に謝辭を重ねるところがあつた

中島掏鹿署長 廿四日朝發

新京警察署執行主任警部中島菊平氏は今回の附屬地外警備區域の擴大に伴ふ第一期附屬地外派遣警察官を率ひ掏鹿領事分館警察署長として二十四日午前九時發列車で赴任するので二十二日關係方面を暇乞挨拶に歷訪した

天氣と氣溫

十二日の氣溫最高二十四度七、最低十六度六、二十三日の天氣南西の風曇、時々晴れ次第に順調に復する見込み

菱刈大將 今日の着任を

待ちあぐんだ 從姉大迫モトさん

將軍とは故里の幼な馴染み ◇…隆さんは破魔投の名人

三位一体の輝かしい榮職に、二度の務めを帝國の生命線滿洲に果すべく『蹶起』した菱刈隆大將は二十二日午後八時廿分歡呼に迎へられて新京市民衆つてこの我帝が父豪放磊落な將軍を歡迎したがこの中に別な意味で將軍の來京を心から喜び將軍との會見を待ちあぐんでゐる老婦人があつた、その婦人は菱刈將軍と幼な友達で從姉にあたる現滿鐵商事部用度課新京倉庫長大迫元光氏の母堂モトさん（六六）である

『將軍』は寡默温厚な故武藤元帥と終に正反對の人も知る豪放磊落、諧謔とユーモアーの連發の中にもいひ知れぬ含蓄のある言葉を殘し、從てその逸話は余りにも多く世人の膾炙するところとなつてゐるがモトさんの懷古談の中にも人間大將を如實に表はしその人情味に溢る將軍の片鱗を物語つてゐる、羽衣町の瀟洒な自宅で記者と對座したモトさんは「隆さんと遊んだのはずつと昔の事ですからもうすつかり忘れてしまひました」と

『冒頭』目をつむり當時の事を回想しながら謙遜しつゝポツ〳〵語り出す

隆さんの家と私の家は同じ鹿兒島市で四、五丁位は離れて居りますが親戚の間柄なので隆さんも私の家に遊びに來、私も隆さんの家に遊びに行つて居りました、子供の時の隆さんは非常に温しくその中にもきかぬ氣の負けじ魂がありました、一番末ッ子なんですが我がまゝな所もなく小さい時から決してムキになつて怒る樣な事はありませんでした、よく鹿兒島獨特の破魔投等をして遊んでゐました、私の子供が早く死んだ爲女の手一つで

『子供』を育てゐましたが遠く離れてゐても絶へず子供の事やその他何くれとなく手紙で問合せて下だされ又九州で行はれる演習の時や、歸郷の時は忙しい中にきつと私の家を訪ねて下さいまして「子供は丈夫かね」ときさくに玄關口で問ひ、元氣な子供の顏を見て上りもせずにお歸へりになつたものです、その度毎に私は感謝の念で一ぱいになりました」と早や老の眼に涙を浮べ將軍に感謝し

この前いらつしやつた時はよく會つて昔話に花を咲かせたものです、又今度隆さんが來るので

『本當』に力強い氣がします、よく元光（現滿鐵用度課新京倉庫長）に親を大切にしなさいと書いた手紙を寄せられます

と元光氏を顧れば元光氏もうなづきながら

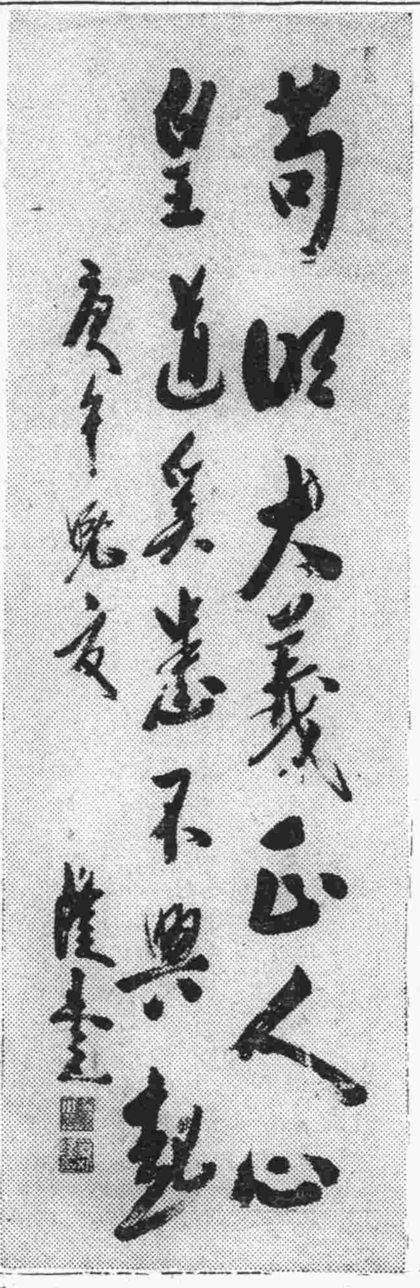
閣下はよく冗談をいはれますがこの言葉を吟味して見ると非常に含蓄があり恰度夏目漱石氏の小說の樣に味へば味ふ程深みがあつてそのユーモアーの中に教へられる幾多の尊い体驗があります從て非常に閣下には親しみ易いが、何處となく

『威嚴』があつて馴れ切る事は出來ません、閣下は豪放磊落の反面には義理堅く、几帳面な所があり私が差上げた手紙には必ず筆で書かれた返事の手紙を下さいます閣下は早朝きで起きるとモーニングをはき青山墓地を巡廻し、乃木將軍を始め先輩の墓に詣でるのを毎朝の日課として居られる事で閣下の奥床しい反面を物語るものです、鹿兒島では

『非常』に青少年崇拜的となつて居ります

菱刈軍司令官の筆蹟

（臼井兼次氏の拜受謹藏せるもの）



故歐警佐の追悼式を擧行

滿洲國警官の範

首都警察廳警察隊警佐歐永久氏は日滿軍隊と共に萬寶山方面に治安工作に出動中匪賊と交戰し

『勇敢』なる行動を爲し人質四名を救出し奮戰中壯烈なる最後を遂げたことは既報の處同警佐の遺骸は廿一日午後一時共に奮戰した戰友に護られて警察廳に到著したが、同廳前には修總監以下全廳員堵列して迎へ同夜は警察廳に安置して廳員の同情深き通夜あり二十二日午後一時より警察廳前廣場に於て警察廳葬を營み靈柩は悲しくも華に飾られた祭壇正面に安置され、式場を壓する嚴肅なる哀愁の裡主に祭者坂田警察隊長の燒香辭朗讀あり、次で修警察總監、長尾警務司長及治安維持會代表昌地憲兵少佐の燒香及び弔辭ありて日滿各機關代表警察廳職員一同の禮拜嚴に行はれた後當時指揮官よりの戰況の說明あり、修警察總監よりは

修總監 追悼の辭

『左の一』如き熱淚湧く感想を述べられ參列者に涙新ならしめた

今日故歐警佐の追悼會に當り余は實に深甚痛切にして悲壯沈痛を感じると同時に一面に於ては我等警察界至上の光榮と存ずる次第であた、本廳所屬市內外の警察者最近二個月間に既に三名の多數殉職者を出し遺族のみならず同僚の間に於ても遂々哀悼の意を表すべきは洵に當然のことなるも省れば殉職せる諸君は一死以て國家社會人民の爲めに殉じたるものにして其の名は實に泰山の如く永久不朽なるものである、之れこそ男子の本懷にして毫も心を殘すべき筈はないのである、又之を考ふれば勇敢義に赴きたる精神は我等警察官にとりても亦最上の名譽でなければならぬ

余は今後首都の治安を鞏固にせんが爲めに微力を盡し斯に同僚諸君と共に勇往邁進することを誓ふものである

日々犧牲者を出すと雖も必ず勇往邁進し生命を賭し以て匪賊を掃蕩し人民を安樂に置かざれば止まず、既に殉職者君地下の英靈に對し中央政府より特に恤金を下賜されたることを以て殉死者の幽魂を慰めるに足り遺族に於ても其の生計を支ふるを得て共に毫も遺憾なきことと思ふ聊か感想の無詞を述べ我等の同僚と共に益々精勵せんと誓ふ

林前警務局長 大連發赴任

（大連二十二日發國通）南洋長官に榮轉した關東廳警務局長林壽夫氏は二十二日大連出帆のうすりい丸で官民多數の見送裡に離滿日本へ向つた

夏休みよさらば 昨日から學校

いづれもピチ〳〵と元氣

二十二日全滿中等學校は一齊に開校した樂しかつた、四十日余の暑中休暇も數々の思ひ出を殘して夢と過ぎ愈々再び學窓の人となつたのだ、新京の商業、中學、女學校の三校も二十二日午前九時からそれ〴〵第二學期の授業開始の式が行はれた、各學校長は生徒等の元氣そうな眞黑な顏を微笑で眺めつゝ第二學期更進への訓辭注意を與へ大掃除に移り二十三日より正規の授業が開始される事になつた

政友協定案は充分練り上げて

第二回會見の時提議する

（東京二十二日發國通）政友會は協定基礎案を作製したが鈴木總裁は齋藤首相と會見の際政府としては如何なる方策で此時局に處せんとするかを訊し其場合齋藤首相から政友會の案を訊されても即答を避け何れ各機關と相談の上回答する旨を述べて第一回會見を終り直ちに長老會議幹部會、代議士會を續開して兩府の所信に基き更に黨としての議を練つて第二回會見をなし黨の政策を提議するのが順當なりと愼重な態度を執つてゐる

政友の協定案と政府側の觀測

（東京廿二日發國通）政友會の協定案に關し政府側では次の如く觀測して居る

齋藤首相と鈴木總裁の會見の際政友會が發表せる如き項目を鈴木總裁が提示するとは思はれない、鳩山文相を仲介としての話し合ひでは精神の結合を主としやうと言つて居る、此の原則的意見が一致すれば齋藤首相鈴木總裁の會見も期待されるのだ、勿論政友會の政策協定基礎案の趣旨に就ては反對しないが、之を實際的に實行する場合政友會の主張通り行ふか否かは疑問だ、民政黨の意見も聽取する要あり、又內容とか意見の相違もあり得る譯だ、詳細は具体事項は會見に於て持出しては基本的精神協調に對する妨げになる虞れがある、政府としては鳩山文相の言を信用して之等の項目は參考材料として見る丈け

首相、鈴木總裁會見は二十三日午前

首相若槻總裁は二十四日

（東京二十二日發國通）鈴木總裁と堀切幹事長の打合せの結果、齋藤首相と鈴木總裁の會見は二十三日午前九時、若槻氏との會見は二十四日午前中と決定した

民政黨側の見解

で、鈴木總裁から要求するものではないと信じて居る

（東京廿二日發國通）政友會の國策協定要綱に對する民政黨側の見解は左の如くである

民政黨は既に若槻總裁も言明せる通り政策に就いては多少異つたゐても大局を誤らねば何處までも援助すると云つてゐるので小異を捨て大道に就くことには少しも躊躇するものではないが、政友會の樣な國防外交日滿經濟、產業行政機構の根本的改革を具体的にどうすると言つては如何にも小異を捨て大道に就くと根本方針は極つてゐても容易に贊成することは出來ず、民政黨が反對すれば政府も政友會とのみ協定しても何もならぬので自然協定は不成立に終つて了ふことにならう

要するに眞に國策を協定するなら現內閣成立當時の精神に鑑み政府、政民兩黨の三者が互ひに協議決定が出來る樣に正しい筋道の通る方法を先に講じてかゝらねばならず、政友會が首相と鈴木總裁の會見で恰も政策の協定が成立したとカムフラーヂュする爲に使ふことがあつてはならぬ

管掌事務の激增に 新京署の增築

十月末までに竣成

長春から新京へそして去年の新京から現在の新京への發展振りは全く素晴らしいものであるがそれと共に新京在住日本人の人口の增加も著しいものがあり、新京警察署ではこれが爲め管掌事務の完全、各部の充實を期すべく全力を擧げてゐるが何分にも從來の建物では狹隘で不便が少くないので目下現在の建物の横隣に新家屋を建築中である、十月末これが完成した曉には警備司法、保安、衞生、高等各部徹底的充實が期せられ人員の增加等も行はれる筈である、因に現在保安部にあつては一日平均の件數は大体次の如き多數に上つてゐる、即ち

一、家屋明け渡しその他に關する件（一）
二、勞銀支拂その他に關する件（五）
三、ルンペン處理（一）
四、人事相談（五十六）
五、所在搜査（二十件以上）
六、營業許可願（十件以上）

其他であるがこの中人事相談所在搜査の件は益々多數に上る見込である、面白く新京の發展振りの一端を窺へるものは家屋問題の望の家と勞資問題の增加でこれからしても續々新建築物で埋められて行く新京に漸次住宅難の聲が潜んで行く共に他方勞銀問題の增加は如何に新京の建築狀況が活潑であるかと言ふことが判る

我對支方針轉換は從來と變らず

我外務省當局の談

（東京二十二日發國通）最近一部人士間には國民政府外交使と黃郛の會見を以て支那の對日政策大轉換の具体化と爲し、又一方我國もこれに對應し廣田大使、杉村陽太郎公使の非公式支那訪問を好機として日支間の難局打開に就き國民政府要人と懇請せしめる等帝國の外交方針妥協に傾くかの如き觀測が行はれて居るに對し我外務當局は二十一日左の如く語つた

我對支方針は從來通り靜觀主義を堅持して居るい今後も何等變更は無い靜觀と云つても拱手傍觀ではない、帝國政府としてはあくまで是々非々主義に則り支那が無謀なる抗日の愚を覺り一日も早く友交關係の復歸を切望するものであるが、最近盛んに日本對支方針の轉換を云ふ者が有るが充分相手の誠意を見てからでなければ何とも云へぬ

北鐵第四次中間會商 ソ側の希望で兩三日延期

（東京廿二日發國通）昨日開催の豫定だつた北鐵交渉第四次中間會商はソ側の希望により二三日延期され二十四日頃開催に決した

北鐵東部線とウスリー鐵道 積換開始

綏芬河領事館より滿洲國中央政府に到達した報告によればポクラの積換作業は七月ソ聯側貨車不法引込を阻止すべくポクラに於て北鐵東部線とウスリー鐵道の交通を庶斷したが、その後滿蘇兩國間に諒解なり、十八日より積換作業を開始し作業は極めて圓滑に行はれてゐる

孫實業部工商司長 サイクル統制委員會出席

滿洲國實業部工商司長孫澂氏はサイクル統制委員會出席の爲廿二日午後四時半奉天に出發したが歸京は廿五日の豫定である

新京神社秋の大祭 神輿渡御順路

新京神社秋季大祭は既報の如く來る十四日の宵祭より十五日にかけ施行されるが十五日は例年の如く神輿の渡御ある筈で其の順路は左の如くである

午前十一時神社を出發し常盤町、西三條通を通過西廣場に出で西二條通泉町を廻つて地方事務所前に出で約十分間の休憩後驛前を廻つて富士町東二條、三笠町を經て中央通に出で吉野町を下つて東二條通、三笠町、東四條通を經て記念館前に至り約十分間の休憩をなし日本橋通を南行、朝日通を經て領事館前に至りて少憩東三條通曙町、東一條通、室町を通過東廣場に至り祝町、中央通を經て午後十時半頃御歸着の豫定である

驛から南關まで バスが五錢に

滿電の英斷的奉仕

滿電自動車部では九月一日より九月卅日までを期し新京驛南關間のバス料金を奉仕的意味にて値下し五錢均一にて乘客の便を計ると共に發車回數も三分毎にて大いに英斷的奉仕振りを發揮する

日露役名古屋聯隊奮戰地に 記念碑

經費一萬圓で來年竣工

日露戰役に於ける激戰地として知られてゐる奉天西方三里于洪屯の名古屋聯隊激戰地並に軍神として周知の大越第二大隊長の壯烈無比、眞に武人の龜鑑としてはづかしからぬ名譽の戰死を遂げた處更に西方二百メートルの地點に記念碑を建立、永く滿洲の守神として在滿同胞は勿論、滿洲國人の間にも記憶せしむべく記念碑建立の計畫はかねて着々進められてゐたが、滿洲事變により一層滿洲の重大性、皇軍の尊い活躍を認識した、國民は最初の經費三千圓ではなは不充分となし廣く愛知縣出身者、奉天居留民關係各方面より寄附を募り、經費一萬圓となし、本年中に建立、明年三月七日除幕式を擧行すべく募集に着手してゐる、同地方は奉天の近郊にして將來道路完成と共に一日のドライブ清遊には好適の場所とされ、これが完成の曉は古戰場見學に杖を引くものが多いと期待されてゐる

初松茸が一出た

百匁二圓二三十錢

秋の魁、松茸が市場に現はれた百匁二圓二三十錢といふ値であるが、初もの好きの人々は値段に拘らず賞味しやうと毎年松茸料理をやる、市場横の藪虎初め各食道樂では既に松茸料理を始めてゐる

滿洲國体協主催の 滿洲國側軟式野球大會

滿洲國体育協會新京支部に於ては同支部主催の下に來る二十七日より一週間餘に亘り新發屯野球場に於て滿洲國側軟式野球大會を催す事となつたが參加チームは滿洲國各部チーム等二十七チームであり、二十四日午後一時より市公署に主將會議を開き組合せ其他細則協定をなす事となつた

告示第一四號
本官八月二十日栗原總領事ヨリ當館及農安分館事務引繼ヲ了セリ右告示ス
昭和八年八月二十一日
在新京
總領事代理 佐々木高義

共同貸事務所
電話、机、椅子、事務員ボーイ、食事の設備有り
至急御申込あれ
電話三八二八番

● 開設廣告
今般滿洲國國都建設局指定地に煉瓦工場開設致し一般需要に可應候間御入用の節は多少に不拘御用命被下度候
事務所 永樂町三丁目廿一ノ三（日本山寺裏）
東省窯業事務所
工場 新京陽家歲子
取次所 安坂新京支店
電話二二四四番

所員採用
一、商工調査及經濟記事ニ自信ヲ有スル者
一、專門學校卒業程度ノ教養アル青年
一、思想穩健身体強壯ニシテ奮闘ニ堪へ得ル青年
一、市內ニ確實ナル保證人一名ヲ有スル者
右一名採用ス
希望者ハ左記ノ書類ヲ本月二十五日迄ニ當所宛郵送ノ事
一、自筆履歷書
一、希望條件記入書
本月三十日迄ニ面會日時通知ス通知無キ人ハ採用不能
新京老松町十一番地
新京興信公所
電話三三五〇番

例年の通り
松茸料理
始めました
（燒、丼、うどん、そば、めし）
割烹やぶ虎
電三四四五番
出前も致します

鏡臺と世帶道具が揃ひました!!
家具と敷物
新京日本橋通
品川洋行

よい菓子を安心して買へる店

皇道と王道
尚武と好武

陸軍軍醫監　武谷水成述

四

處で茲に此の「スメル」「スベル」の事實、及び其の起りに就いて、重要の一事を申し述べて置く必要があるとおもひます、それは我が肇國の始めに於いて天祖天照皇太神が國津神、即ち此の瑞穗國の領主である大國主命に向はせられて「汝が「うしはける」國は吾が子の「しらさん」」と宣はせた事である「うし」はぬしにて即ち自身「はく」は佩くる「しらす」は統治、前に申した「スベル」である、即ち汝が私領として居る處の此の瑞穗國は吾が子孫の統べ治むべき國土であると仰せられた此の日本國は決して個人の私有物では無い勿論　天皇の御私有物でも無い　天皇が天の御子として天に代り神に代らせられ、現し神として統べ治めさせ玉ふ處の、公共の國土であると宣はせたのである。

而して此の天祖の御詔勅は、決して御詞のみに止つて居ぬ御容旨では無い、爾後代々相承けて三千年、我等の祖先から今日に至るまで、目の當り此の世界に無比なる無限の御鴻恩に浴し奉りて居るのである、一日水火が無ければ人間の生活は忽ちに止まる、それが日々馴るれば、此の水火の大恩を大恩とも思はず、無意味に過ごして居るのが普通の人情である　天皇統治の御鴻恩は、水火の恩と全く齊しいのである、今其の事實を一々申述ぶる事は、茲では出來ませぬが、只其の顯はれて居る處の影さでも申しましようか其の中の大にして顯著なるもの實例を申しますれば、此く天に代り神に代らせてお治す日本の　天皇には姓とか氏とか云ふものは持たせられぬ　天皇に御苗字と謂ふものが無い、明治天皇が日清日露の役其の他諸外國との大なる條約の御批准にも、赤臣民に賜はる辭令の御自署にも、單に睦仁と御署名遊ばさるるのみであつて、萬國の主權者と全く選を異にして居る、天に姓の有るべき理由が無ければ、其の天の御子眞正の天子にも姓のあるべき筈が無い、他と區別する必要が無い、乃ち姓の生ず可き理由が無いのであります、之れが皇國の天子には、肇國の初めから姓とか氏とか日ふものゝあらせられぬ所以である、此の外に尙ほ今一つは、皇國の天子には、建國の肇めより今日に至るまで城砦と云ふものが無い、天に代り神に代りて天下をしろしめすのであれば敵のあるべき筈が無い、敵が無ければ「城」とか「砦」とか云ふ防禦物の必要が無い、乃ち皇國の天子には肇國以來、皇居ありて皇城の有らせられぬ所以であります、(千代田城は明治維新の遷都に際して便宜德川氏の居城を皇居に奠められたに過ぎぬ今は立派な皇居である、大東京市新圖に、皇城とあるは皇居とするを至當と信ずる)

五

以上申述べました處は、決して今日に止まらぬ、今日以後も子々孫々、千萬年の後に至るまで、此の地球上無比無限の皇恩に浴し奉るべきは、千代に八千代にさざれ石の巖となりて苔の蒸す迄でありましよう、否な苔の蒸すまでありましよう、是れ即ち地球上に比類なき我が萬世一系の國體の此の世に生れ出でた淵源である、皇道の此の土に生じた根元である、教育勅語に宣らせ玉ひたる所謂皇運の、八紘を包括し宇宙を統治あらせらるゝ大機運の根元と恐察し奉るのであります

六

以上申述べました處を更に一歩を進め之を歷代の史實に徵して敷衍して見ますれば、『高き屋に昇りて見れば煙立つ』の御製は、決して仁德天皇御一人の御悅びではありませぬ、寒夜に御衣を脫いで細民の寒苦を偲ばせ玉ふたのは決して醍醐天皇御一人の御慈悲心には止まりませぬ、「スメル」「シラス」の　天皇の御勅詔を始めとして三千年間に於ける歷代の御祝詞、又た夥多の御勅語を拜誦致しますれば萬々御承知の如く、人民を靑人草と稱し、大御寶とたゝへて、民命を尊び民命を重ぜられぬものは無い、此の至貴至尊なる事實は、世界何れの國の史上にも其の片影だも認め得ぬ處であつて、獨り我が皇國のみに見る特異の現象である、史實である、之が則ち我が皇道の實現であり、顯はれである、皇道は　天皇が現し神として天に代りて、此の皇道を神ながらの道の儘に、執り行はせ給ふ一大機運である、故に之れを歸納すれば即ち皇道である

蒙古馬と日本馬
騎乘法も研究したいと
◇……清水騎手の話

今般の事變に際し我軍部に於ては軍馬として日本馬及蒙古馬の兩種を使用致されましたが其結果蒙古馬は日本馬に比し寧ろ良好なる成績を擧げた樣です

□

日本馬は体格もよく從つて走力体力共に優秀でありますが滿蒙の氣候に適さないのであります、即ち寒氣に對する抵抗力が極めて弱き爲に冬期に於ては使用に耐えぬ場合が多いのであります、此の點蒙古馬は元來寒氣の中に生育したものでありますから皮膚も厚く生來耐寒的に出來て居りますので冬期に於ても使用上何等障碍を起しません、之が今度事變に於て後者が優秀なる成績を擧け得た第一の原因と受けたまわつて居ります、又蒙古馬は体格に於ては日本馬に劣りますが體力は優る共劣らず殊に長距離の運動に於てまさに日本馬より勝つて居るそうです又蒙古馬は障碍地帶を通過するのにはもつとも適當の馬と思われます

□

以上の如く日本馬及蒙古馬には各々長短がありますので兩者の半血馬即ち兩者の長所を具有する馬を產出する事が考へられてゐるのです、すでに朝鮮に於きましては一昨年秋より軍司令官の指令に依り蒙古馬と、あんぐろあらぶ種との半血馬を產出し現在に於ては競馬にも出場し良好なる成績を擧げつゝあります、此樣に蒙古馬は馬種改良上實に重大な存在なのであります、蒙古馬の混血に依つて眞に理想的な馬の產出される事は遠い將來では無いと思考されます

□

私も競馬に從事はる一員として從來より蒙古馬騎乘法に付き又馬種改良問題に關して研究しつゝ居りますが尙研究したいと思ひまして渡滿各地を視察し當地を參りました所不慮の災厄に遭ひ目下滿鐵病院で加療中ですが全快の上は一應蒙古に行き蒙古人の騎乘法を見た上乘騎法に付き充分研究したいと思つて居ります蒙古祭後は當地に足を止め皆樣の御盡力を得、今後も一層研究する心組で居ります承れば當地に於ても最近秋季競馬會が擧行され本秋季よりは障碍競走又驟駕速步競走等も行はる由ですが若し實現すれば誠に喜ばしい事と存じます病床より同會の隆盛を切に御祈りする次第であります

上海事變 映畫新戰場
二十三、四兩日晝夜長春座

帝國在鄉軍人會聯合會新京分會、新京聯合婦人會の主催で新京兵士ホーム基金募集のため上海事變の實寫映畫「新戰場」が二十三、四の兩日晝夜長春座で上映される、この映畫は第十二師團司令部、步兵第二十四聯隊、步兵第四十六聯隊、步兵第四十八聯隊、野砲兵第五十四聯隊、同第二十四聯隊、獨立山砲第二聯隊、工兵第十八聯隊、第一戰車隊、飛行第四聯隊、通信隊、衛生部隊、憲兵隊、佐世保鎮守府管下艦艇等々出動人員百五十萬人、戰車十八台、重砲十二門、野砲、山砲三十七門、軍艦十數隻、飛行機二十數台、地雷爆彈等無數で震天慴地の戰鬪實寫の得難い歷史的映畫である、番外として阪東妻三郎主演の喧嘩安兵衛、山本嘉一主演乃木將軍と熊さん等興味本位の映畫が添へられてあつて入場料大人一圓、軍人警察官の制服着用者は無料である

立命館大學野球部來戰

立命館大學野球部員は二十二日午後七時五十分着列車で來京二十三日午後四時から全新京軍と對戰翌日は午後三時から滿洲國チームと何れも西公園球場で對戰する、一行の顏觸れは投手靑芝、濱邊、捕手村川、石川、一壘手淺井、紺屋、二壘手後藤、吉田、三壘手雪本、遊擊小林、金井、外野手木全、相原、太田、坂本、村上

四平街から
陸相から感謝狀

去る十五日荒木陸軍大臣より鳥越四平街警察署長宛に今次事變に際し國民愛國の至誠に依り陸軍々用物件を獻納し大に皇軍の志氣作興に寄與せられたるは洵に感謝に堪へざる所である、就ては獻納者全員に對し感謝の意を表し度きが全國獻納者の總數一千數百萬人に達するを以て經費其他の關係上各人に對し一々感謝の意を表し得ざるは遺憾に堪へず貴殿より管內獻納者各位に可然謝意傳達され度い」と同防獻品を記念するため編纂せる國防獻品記念錄一部と左の感謝狀を送付して來た

感謝狀

滿洲事變に際し貴管下各位は愛國の熱誠を以て進んで國防兵器其他軍に獻納せられし爲日皇軍の志氣揮與するところ大なり茲に其の意に對し衷心より深甚なる謝意を表す

昭和八年七月十三日
陸軍大臣　荒木貞夫
四平街警察署長鳥越茂穗殿

海の外から

□屋上芝生で冬温夏淸の妙

米國、ロング島の一大工さんは屋根の上に芝生を植え付けることに依つて、見事、冬温夏淸の案出に成功した、實驗の結果、室內は冬季華氏十五度の温度上昇、夏季は二十度の下降を見た由

□ソ國の反宗映畫大持て

ロシヤでは、反宗敎運動の一つとして、白系又は惡德僧の排斥映畫を作製してモスコー公園、其の他の盛り場で映寫してゐるが目下大持てであるそうな、蓋し該映畫は接吻に依る僧侶の梅毒感染、醜行が因で姙婦に墮胎を强ふる場面等が豪華版であると

□排草器付自轉車

米國テキサスの農場では、乘り廻りさへすれば雜草を刈取る排草器付自轉車の使用者が增加中

□長身大のエーラムの葉

菖蒲屬のエーラムといふ植物は植物界で長葉をもつて珍品とされてゐるが此の程西印度諸島の濕地で身長大の葉が發見された、長さ約六呎のもので目下世界の好參考資料となつてゐる

□渦卷のオーロラ

過般アラスカの北天に出現したオーロラは渦卷定型のものであつた爲め、同地方人に天變地異の凶徵ではないかと米國々立天文台に問合せ方を依賴した

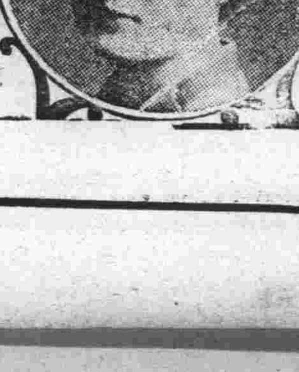
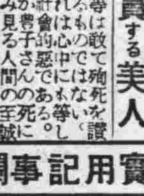
□大伽藍の計設圖紛失

前世紀に於て燒失の厄に遭つた英國の聖ポール大伽藍はオツクスフホード大學敎授クリストフアー・レン氏によつて計設建立されたものであるが最近その設計圖紛失し論議は目下大騷ぎをしてゐると

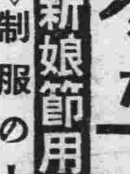
鮮魚小賣相場

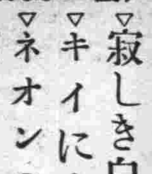
活鯛	一二〇	小鰺	六七
鮪切	八五	ニベ	一六
ヒラス	五〇	サハラ	三五
スヽキ	三〇	サバ	一六
アジ	二六	カレイ	一三
ヒラメ	二七	コチ	三〇
コノシロ	三〇	イワシ	三〇
ハゲ	三〇	メバル	一三
ムツ	二六	アコウ	五二
サヨリ	四一	フカ	二〇
タコ	五七	イセエビ	七二
車エビ	二〇	コエビ	三八
ハモ	三五	アナゴ	二六
アワビ	七六	シタミ	一〇
ノユ	一六〇		

九月新秋號
婦人公論
定價五十錢　本日發賣

五・一五に裁かれる弟を憶ふ　山岸多嘉子
姉と呼ばれ弟と呼んで相睦む肉親の姉弟が、一人は法廷に一人は傍聽席に、法の裁きを前にして沈默の瞬間無言の言葉に無限の心を交はす――その感激や如何!!五・一五の被告山岸中尉の實姉多嘉子さんが、一言一句肺腑を抉つて、世人に訴ふこの一文は、非常時日本の生きた心臓を物語る大文字として、生を日本に享ける者一人殘さず見逃すことの出來ないものである。姉の言葉に被告等の僞らざる姿を知れ。そして混沌たる世相の日本に正しい光明を見出さねばならない。生きた文字にこそ正しき批判と認識はあるのだ

◇一人の母として……與謝野晶子
蘇峰小話……蘇峰 德富猪一郎
◇坪內博士と私(僕の頁)……嶋中雄作
◇精神教育・科學教育 尺貫法と思想善導……山川菊榮
◇外國文學講座 人類の王シェークスピヤ……日高只一
◇初秋(短歌)……久保田不二子
◇秋風(詩)……勝承夫
◇觀照の秋(隨筆)……吉田絃二郎
★小說欄陣容★
本號より愈々連載 償ひの坩堝……藤沢恒夫
◇善緣惡緣(椿貞雄畫)……長與善郞
◇黄昏の薔薇(富田千秋畫)……德田秋聲
◇女優(關口隆嗣畫)……北村小松
◇お千代傘(山川秀峰畫)……吉川英治
◇美貌の果(山村耕花畫)……南宋一
★靑白行狀記――私は欺されたのだらうか?……早川たつ子

(グラビア) ひびき……　奥樣の書齋　初秋の洋裝　働く婦人の一日　美くしい歩き方　パパの居ない間　女學生のモダンお作法　美人の推賞する美人
愈々內容の充實せる實用記事欄
◇スマートな洋裝をする秘訣・伊藤茂子
◇尖端的スマートなスーツの作り方・杉野芳子
◇爽かなブラウスとスカートの作り方・岩崎春子
◇おとなしい上品なスーツの作り方・小澤靜枝
◇近代的個性美を生かす化粧法・吉行あぐり
◇皮膚美を增進させる法…賀川哲吉
◇海から歸つて後の髪の手當法・本居貫美子
◇洗髪に香水を塗る・茂木響子
◇少女の婦人病・杉田直樹
月經調査第一回報告
◇月經異常者に答ふ・鈴木甚吉
◇不姙症の無痛療法・高岡朋三
◇新結核豫防法・佐藤惇一
特輯 シェークスピヤ寫眞物語

夫の後を追ふて自殺した妹へ……小野賢一郎

(森田茂)

(石川すゞ)
廿七才の人妻と情死した十八少年の情炎日誌
新娘節用・娘たちのために……加藤武雄
▽制服の七人娘……(少女心理への無理解)木村松代
▽僞れる處女……(奴隸的道德の產物)高良富子
▽一知半解の桃色爭議……(より現實的な第一歩へ)竹田菊
▽湖底の少年・少女……(生活力の弱さ)河崎なつ
★娘十六何をなすべきか?
實『娘の戀愛とその母』
◇娘の目と母親の目……曾我部きよ
話◇明朗な娘を愁ふ……町田直子
親に逆いた結婚實話
◇罵倒の中から……伊藤美代
◇惡魔の笑ひ……井上敏子
特輯誌上 少年映畫 自由よボク等に!!
★此の喜び(わが子英彦に殘す覺え書)……林房雄
◇初秋の生物曆……原田三夫　◇西洋美術解說……板垣鷹穗
★武田麟太郎の妻となる記……長倉留女
★生活のために戀愛も結婚もない私達(實話)


(當選實話)
▽寂しき白衣の處女(看護婦)太田道代
▽キイにうつ青春(女事務員)伊月敏子
▽ネオンの陰の涙(女給)庭梅子
▽笑ひつゝ子等と遊ぶ(女教員)石塚竹代

附・僕の寫眞自敍傳・
僕は祖國を愛す
川島芳子
東京丸ビル五階　振替東京三四
中央公論社

森永ベルトライン
日本橋通り
金泰洋行

變幻黑船往來

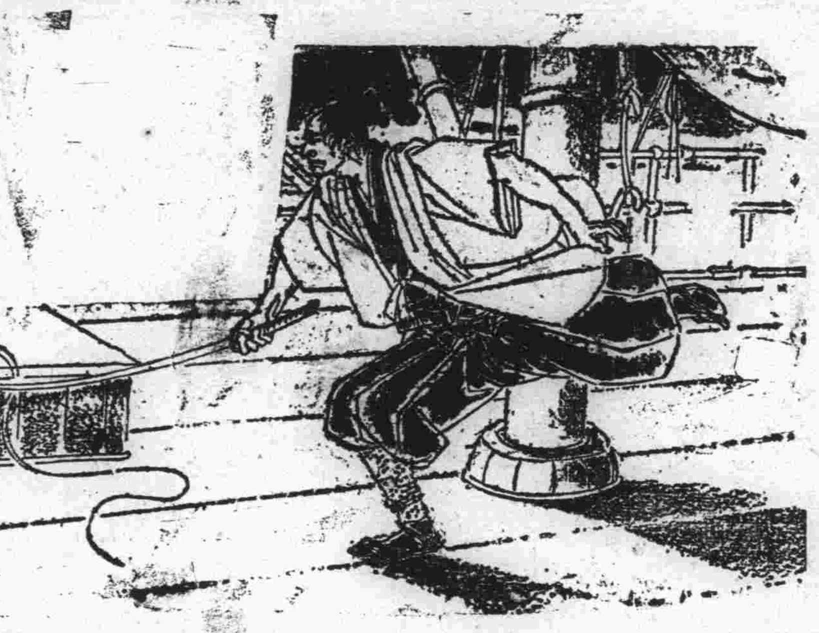
禁轉載上映及上演

（作）寺島柾史
（畫）布施長春

第百三十一回

人間爭奪（八）

「幕府の要路も、このことを逸早く感づいて、いろ／＼對策をめぐらしてはみるが妙策がない。いまのうちにイゲレス軍艦の來航を禁止せよと叫ぶ攘夷論者、つまり鎖國論者がいたづらに多いだけぢや。が、その中に、二三の具眼者もをつて、この際一時もはやく政權を天子に返上し、日本をしてあかるい國に改造しようといふもの、また、南方の雄の暴擧に對抗して幕府においてもイゲレスと立派に太刀打ちの出來る他の國の援助を求めて思ひきつて大戰爭を開始するがよいと力說する老中もをる」



『では、あなたは、その老中の密使となつて蝦夷地箱館のフランス軍艦を追ふて來たのですね』

『いはばさうだ。まづフランス軍艦を手に入れ、次に松前藩を手中におさめる大事業を、一手に引受けて參つた乾典膳なのさ』

殘らずお愛の前にぶちまけた。そして、彼女の返答を靜かに待つた。

扉の外の騷音は、いつのまにかはるかに遠のいてゐた。劍をとつては、松前藩にその人ありとうたはるゝ夏川左京だ。フランスのだんぶくろ兵だちのためにむざ／＼討死するやうなことはない。追ふてゆくのか追はれてゐるのか、殺氣立つ一團を次第に甲板の方へ誘きてゆくらしい。

典膳は舌打した。

たかが、松前藩の青侍のことだ。飛道具でただ一擧に打取るは大人氣ないとおもつて、雜兵どもに飛道具を用ゐず生捕にするやう命じた自分の手ぬかりがくいられた。

生捕にして何かの役に立たせようと、あくまでも方便主義でいかうとする自分の企みが、いま、ことごとく向ふから外れていきさうだ。磯貝を取逃がしたのもそれだ。箕浦に手古摺つてゐるのもそのためだ、さらに青侍の夏川左京をも、充分暴れるにまかしてゐる。

お愛は、冷酷無情だと評したが典膳自身にしてみれば、これほど寛仁大度なことがあらうか……。

――ようし！　猪口才な！

一刻も左京を活けては置けぬとばかり典膳はいきなり立上つた。

が、かへりみれば、傍に艷麗牡丹の花をあざむく女性がゐる。甲板へ遁のいた左京を追ふてゆくのも急務だが、お愛をこのまゝ室へ殘して行くわけにもいかない。色戀の沙汰ではない。大事を打開けてしまつたからだ。この場合お愛に逃げられては、それこそ、長提もありの一穴よりのことわざを地でいく結果になる。

お愛の、確かな返答をきくまでは、一歩もこの室を出ることはならぬとおもつた。

『お愛！どうぢやな、この典膳の眞意がわかつてくれたか……』

表面あくまでも、焦燥をおしかくし、落着拂つて相手の返答を待つた。

『もし、フランス東洋艦隊が德川に味方して、薩摩をけしかけるイゲレス勢とたゝかひをするやうなことになつたら、どちらが勝ちませうかね』

お愛の質問は、一見平凡のやうであつて、その實典膳にとつてはすこぶる意想外だつた。

『さア勝負は時の運、水ものだ。どちらが勝つと明言はできぬが、まづ五分々々の際どい勝負とみ』

當店自慢
長崎カステーラ
五色羊羹モナカ
輸入組合加盟店
和洋製菓
峯長春堂　電話三一九一番
同市場內支店　電話二八四二番

內科　小兒科
性病　痔疾科
アヘン、モヒ
ヘロイン中毒
松本醫院
入院隨意
隨時往診應需
日本橋通郵便局前
電話三七五六番

御稱來上
趣味蒐集
マツチレツテル
廣告マツチ
進物用品
カレンダー
扇子團扇
新京
出田吟味堂
東二條通

眼鏡の御仕入は!!
◎冗費と手數を省き
直接製造元より
（カタログ進呈
郵券四錢要ス）
大阪市東成區林寺町生野中學校前
市川セルロイド工業所
電話天王寺（77）六二六番
振替大阪七四二九五番

秋の新衣裳は……!!
弊店のショウウインドーから!!
婦人セーター　スカート
子供ジヤケツ　洋服
ネクタイ　旅行具
新京日本橋通
平本洋行
電二一ゑ八番

櫻御影石販賣
關東廳及滿鐵工事課の賞讃を博せし
櫻御影石
火熱寒氣に絕大の耐久力を有し磨けば大理石以上の光澤を有す特別長大物直經六七尺、長四、五十尺
細工入念―期日正確―價格低廉
鞍山大和町一丁目九ノ三
田尾組
取次　新京日本橋通七八　電二一一六番

十一日開店以來
連日連夜の滿員
厚く御禮申上ます
皆樣の感じのいゝカフヱーとして
自信を以て誇り得る
サロンロートルです
何卒御贔負に……!!

愈々
改築完成
果然！鮮滿一の豪華版
新京名物が一つ殖へました
凉を追ふ夏の一夜を
爽快、凉味、明朗、改築成つた
精養軒へ銷夏討暑行

サロン
ロートル
吉野町二丁目　電話二〇七二番

カフエー
精養軒
東一條通　電話二三〇五番

內容充實
模範的
カフエーミカサ
宴會の出前も致し舛
電話二四六八

御料理
梅月
新京三笠町三丁目
電話二七八四番

御料理
仕出し
おしん
すし
うなぎ丼
うなぎ蒲燒
酒の安兵衛
取次電話四七四〇番